

安全データシート（SDS）

作成日：2014年11月20日

改訂日：2024年12月26日

1. 化学品及び会社情報

製 品 名	オートクレープ洗浄液 AC-1000
供給者の会社名称	株式会社 トミー精工
住 所	〒179-0073 東京都練馬区田柄3-14-17
電 話 番 号	03-5987-3111
FAX番号	03-3577-1655
推 奨 用 途	オートクレープの洗浄液
使用上の制限	推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと

2. 危険有害性の要約

《この製品のデータがないので、GHSのカットオフ値に基づいてリン酸のGHS分類が適用となっております》

化学品のGHS分類

物理化学的危険性	分類できない
健康有害性	急性毒性（経口） 区分4
	急性毒性（経皮） 区分4
	急性毒性（吸入：粉じん、ミスト） 区分3
	皮膚腐食性／刺激性 区分1
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 区分1
	特定標的臓器毒性（単回ばく露） 区分1（呼吸器）
環境有害性	水生環境有害性 短期（急性） 区分3

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル：



注 意 喚 起 語：危険

危険有害性情報：飲み込むと有害

皮膚に接触すると有害

吸入すると有毒

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

重篤な眼の損傷

臓器の障害（呼吸器）

水生生物に有害

注 意 書 き

【安全対策】：この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
取り扱い後は、手や汚染箇所を良く洗うこと。
環境への放出を避けること。

【応急措置】：

吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

直ちに医師に連絡すること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合には外すこと。その後も洗浄を続けること。

皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。

皮膚（又は髪）に付着した場合、直ちに全ての汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水で洗うこと。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

【保管（貯蔵）】：換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

施錠して保管すること。

【廃棄】：内容物や容器は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学名（又は一般名）

成 分 名	含 有 量	C A S N o .	官報公示整理番号 （化審法・安衛法）
水	6 5 %以上	7 7 3 2 - 1 8 - 5	—
りん酸	3 1 %以下	7 6 6 4 - 3 8 - 2	1 - 4 2 2
その他	非公開	既存	既存

4. 応急措置

吸 入 し た 場 合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いのが続く場合、医師の診断、手当を受けること。

皮膚に付着した場合：直ちに全ての汚染された衣類を脱いで取り除き、多量の水と石鹸で洗うこと。汚染された保護衣を再使用する場合には洗濯すること。皮膚刺激があれば、医師の診断を受けること。

眼 に入 っ た 場 合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合には外して洗浄を続けること。

眼の洗浄後、医師の診断、手当を受けること。

飲 み 込 ん だ 場 合：無理に吐かせないで、口の中を水ですすぐだけにすること。

患者の意識が無い場合には口から何も与えないこと。

速やかに医師の手当を受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤：この製品は不燃性である。周辺の火災に応じた消火剤を使用して下さい。

使ってはならない消火剤：情報なし

特有の消火方法：安全に移動可能な場合には容器を火災現場から搬出する。
移動不可能な場合には水スプレーで容器や周囲の冷却を行う。
消火作業は風上から行い、必要に応じて適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：直ちに適切な距離を漏洩区域として隔離し、関係者以外の立ち入りを禁止し、風下の人を避難させる。作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

環境に対する注意事項：土砂、土のう等で周囲への拡散を防止する。漏出物を直接河川や下水に流してはいけない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：

少量の場合は乾燥土、砂等で吸収し、密閉できる空容器に回収する。多量の場合は盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。回収したものは、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

残液は炭酸ナトリウム溶液等のアルカリ性溶液で中和し、水で洗浄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：接触、吸入の恐れがある場合には適切な保護具を着用する。

局所排気・全体排気：換気の悪い場所で取扱う場合には排気装置を用いる。

安全取扱い注意事項：接触、吸入又は飲み込まないこと。アルカリ類との混触禁止。

保管

安全な保管条件：容器は密閉して直射日光の当たらない冷暗所で保管すること。

安全な容器包装材料：樹脂製容器(ポリ容器等)

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度：1 mg/m³（日本産業衛生学会（2014年）：りん酸）

設備対策：防爆の設備・換気・照明機器を使用すること。静電気放電に対する予防措置を講じること。できるだけ密閉された設備又は局所排気装置を使用すること。

保護具：呼吸器の保護具 酸性ガス用防毒マスク、ホースマスク

手の保護具 不浸透性手袋

目の保護具 保護眼鏡、ゴーグル

皮膚及び身体の保護具 長靴、前掛け、長袖作業着

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
色	: 青色
臭い	: データなし
融点／凝固点	: データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	: データなし
可燃性	: データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
pH	: 0.86 (参考値)
動粘性率	: データなし
溶解度	: 水に任意の割合で混合
n-オクタノール／水分配係数	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び／又は相対密度	: 1.06 (参考値)
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: 非該当

10. 安定性及び反応性

反 応 性 : データなし
化 学 的 安 定 性 : 通常の取扱い条件では安定である
危険有害反応可能性 : アルカリ類との接触を避ける
避 け る べ き 条 件 : データなし
混 触 危 険 物 質 : アルカリ類
危険有害な分解生成物 : リン酸化物

1 1. 有害性情報

りん酸として	
急性毒性（経口）	区分 4
急性毒性（経皮）	区分 4
急性毒性（ガス）	区分に該当しない
急性毒性（吸入：蒸気）	区分に該当しない
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	区分 3
皮膚腐食性／刺激性	区分 1
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 1
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分 1（呼吸器）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	分類できない
誤えん有害性	分類できない

1 2. 環境影響情報

りん酸として	
生体毒性	
水生環境有害性 短期（急性）	区分 3
水生環境有害性 長期（慢性）	区分に該当しない
残留性・分解性	データなし
生態蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	分類できない

1 3. 廃棄上の注意

残 余 廃 棄 物：大量の場合には関連法規並びに地方自治体の基準に従って廃棄すること。都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに委託して処理する。

1 回あたりの使用量と同程度の少量の場合は水に希釈して一般排水として扱う事が可能。

汚染容器及び包装：容器は洗浄し、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って廃棄する。

1 4. 輸送上の注意

国際規制

国 連 番 号 : 1 8 0 5 (りん酸溶液)

国 連 分 類 : クラス 8 (腐食性物質)

容 器 等 級 : III

国内規制

海洋汚染物質 : 規制の対象である

陸上規制情報 : 関連法規に従う

海上規制情報 : 船舶安全法に従う

航空規制情報 : 航空法に従う

1 5. 適用法令

労 働 安 全 衛 生 法 : 名称等を通知すべき危険物及び有害物 (りん酸)

名称等を表示すべき危険物及び有害物 (りん酸)

船 舶 安 全 法 : 腐食性物質 (りん酸)

航 空 法 : 腐食性物質 (りん酸)

1 6. その他の情報

1. 本データシートは、標記の製品の一般的取扱いに関して、弊社が現時点で入手できる資料・情報・データ等を取りまとめたものであり、全ての資料を網羅しているわけではありませんので、その取扱いには十分注意して下さい。
2. 新たな情報を入手した場合には、本データシートを訂正又は追加する場合があります。
3. 標記の製品に、他製品を混合する場合及び特殊な条件下での使用に関しては、使用者において安全を確認して下さい。
4. 本データシートの数値は、保証値ではありません。
5. 本データシートは JIS Z 7253 : 2019 に準じて作成しています。